

各 位

2026年1月13日
株式会社リットーミュージック

あの頃、ギター・ヒーローになりたかった
すべての大人ギタリストへ
生見愛瑠が表紙・巻頭の「ギター・マガジン・レイドバック第18号」本日発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ギター・マガジン・レイドバック Vol.18』を、2026年1月13日に発売しました。

レイドバックとは？

やったりした、とか、くつろいだ、という意味です。大人のギタリストはもうアクセント弾くのはやめて、ゆっくり楽しくギターを弾こうよという意味が込められています。

ゆる～くギターを弾きたい大人ギタリストのためのギター専門誌第18弾！

古き良き時代にギターを始めた大人世代に向けたギター誌『ギター・マガジン・レイドバック』の第18弾です。誰もが憧れた懐かしのギター・ヒーロー、思い出深い名器、当時コピーに挫折した名演などにスポットを当て、ノスタルジックな目線でもう一度ギターの魅力を探っていきます。現役の親父ギタリストはもちろん、ギターを押し入れにしまった方も、レイドバックした気持ちでもう一度我々と一緒にギターを弾いてみませんか？ セカンド・ライフをギターと楽しく過ごしましょう。

■書誌情報

書名：ギター・マガジン・レイドバック Vol.18

定価：2,200円（本体2,000円+税10%）

発売：2026年1月13日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3125251003/>

CONTENTS

◎表紙・巻頭インタビュー みんなギターで大きくなった

生見愛瑠

2026年3月に公開される映画『君が最後に遺した歌』にギターを弾くヒロインとして出演する生見愛瑠。約1年半にわたって歌とギターを特訓したという“めるる”に映画について、ギターについて、音楽について詳しく聞く。



◎特集

ジミ・ヘンドリックスのDNA

エレクトリック・ギターの革命児=ジミ・ヘンドリックス。ブルース、R&B、ロックンロール、ジャズ……さまざまな音楽ジャンルのエッセンスを飲み込んだジミは、60年代中期、一躍、檻舞台に登場した。桁外れな作曲能力、縦横無尽なコードワーク、トレモロ・アームを駆使したワイルドでエモーショナルなソロ、そしてストラトキャスターをマーシャルにつないでファズやユニヴァイプをかけた超弩級のサウンドは人々の度肝を抜き、後世のギタリストに大きな影響を与えた。そのフォロワーは数限りない。例えば70年代のロビン・トロワー、ウリ・ジョン・ロー、80年代のスティーヴィー・レイ・ヴォーン、90年代以降のスティーヴィー・サラス、ジョン・フルシアンテ、ジョン・メイヤーといった具合だ。彼らがどのような形でジミのDNAを受け継いできたかに焦点を当てることで、没後55年を超えて愛されるジミ自身の偉大さを再認識したい。



◎レイドバック・ルポ

ありがとう！ 渋谷陽一

2025年夏、惜しまれつつ亡くなった渋谷陽一。音楽評論家として、企業家として一時代を築いた渋谷にレイドバック世代は大きな影響を受けている。洋楽を聴き始めた中高生の頃、渋谷がDJを務めるラジオはほぼ唯一と言って良いほど貴重な情報源だった。深夜に独り、渋谷の声と流れてくる音楽に一喜一憂しながら、貪るように聴いた経験が誰にでもあるはずだ。レイドバック世代にとって渋谷陽一とは何だったのか。当代きっての論客、スージー鈴木が掘り下げる。また、現役音楽評論家／音楽ライターによる実名座談会、著作リストも。

**渋谷陽一がレイドバック世代
音楽ファンに及ぼした影響**

文・スージー鈴木

渋谷陽一がレイドバック世代に及ぼした影響

2025年夏、惜しまれつつ亡くなった渋谷陽一。音楽評論家として、企業家として一時代を築いた渋谷にレイドバック世代は大きな影響を受けている。洋楽を聴き始めた中高生の頃、渋谷がDJを務めるラジオはほぼ唯一と言って良いほど貴重な情報源だった。深夜に独り、渋谷の声と流れてくる音楽に一喜一憂しながら、貪るように聴いた経験が誰にでもあるはずだ。レイドバック世代にとって渋谷陽一とは何だったのか。当代きっての論客、スージー鈴木が掘り下げる。また、現役音楽評論家／音楽ライターによる実名座談会、著作リストも。

LaidBack
Photo by Walter Schachner/Univision/OneShot Getty Images

渋谷陽一
In Memory Of Yoichi Shibuya

ありがとうございます

2025年夏、惜しまれつつ亡くなった渋谷陽一。音楽評論家として、企業家として一時代を築いた渋谷にレイドバック世代は大きな影響を受けている。洋楽を聴き始めた中高生の頃、渋谷がDJを務めるラジオはほぼ唯一と言って良いほど貴重な情報源だった。深夜に独り、渋谷の声と流れてくる音楽に一喜一憂しながら、貪るように聴いた経験が誰にでもあるはずだ。レイドバック世代にとって渋谷陽一とは何だったのか。当代きっての論客、スージー鈴木が掘り下げる。また、現役音楽評論家／音楽ライターによる実名座談会、著作リストもお届けする。

◎インタビュー&ギター・コレクション

ROLLY

そのユニークなキャラクターとグラマラスなメイクで人気のギタリスト ROLLY。彼の愛用ギター12本とそれにつながるストーリーを紹介する。

◎レイドバック・セミナー スウィング・ギター練習帳

第3回 【ジプシー・スウィング編】

スウィング・ギター・セミナーの第3回はジプシー・スウィング。ジャンゴ・ラインハルトに代表されるホットなスウィング・ジャズにどっぷり浸かってみよう。

◎レイドバック・セミナー 生涯ギターを楽しむための体の使い方

ギタリストが陥りやすい手や腕のトラブル、そして腰のトラブルなどを避けるにはどうしたらいいか。カイロプラクティックの観点から、その防止法を伝授する。



◎レイドバック・セレクション
「分かってくれるかい」ジェフ・ベック

好評連載

- ・その時、エース・フレーリーはレス・ポール・カスタムを弾いた
- ・ビンテージ・ギター・カフェ 1960年ギブソンES-335TD



- ・よっちゃんのギターいじり ism 野村義男
- ・あの頃、ライヴ盤でごはん3杯
- ・定年後に聴きたいおニューミュージック
- ・イマ会いに行けるご当地トリビュート・バンド
- ・洋楽ディレクター地獄の回想

他

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】<https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塙本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp